

施策マネジメントシート(2024年度の振り返り、総括)

作成日 2025 年 8 月 1 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち					
施策	21	文化財の保存と活用	主管課	名称	生涯学習課	関係課	
				課長	大塚 裕		
				担当係	生涯学習係		
							

目的と基本方針	歴史文化への関心を高めるため、文化財を適切に保存・活用する
	- 文化財が後世に継承されるよう、文化財の保護に努めます。 - 歴史文化への関心を高められるように、文化財の活用に努めます。 - 伝統芸能の後継者を育成しやすくするためには、保存団体を支援します。

考え基本事業の	- 文化財が適切に保存されるために、所有者・管理者による指定文化財管理を支援する。 - 人々が歴史文化への関心を高めるために、資料館および名胡桃城址の見学者数増加に努める。
---------	--

基本事業	基本事業名	対象	意図	取り組み方針
	1 文化財の保護	指定文化財	適切に保護される。	指定文化財管理状況調査の中で文化財管理(保護活動)に関わった人数を把握し、活動を支援します。
	2 文化財の活用	町民・観光客	歴史文化に触れ文化財が活用される。	歴史文化への意識を高めるために、資料館と名胡桃城址の展示内容を定期的に見直して見学者数を増やすなど、文化財の活用を積極的に進めます。
	3 文化財の保存	伝統芸能	記録される。	後継者が減少し存続の危機にある伝統芸能を中心に、映像として記録し後世に継承する。
	4			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状 - 地域の伝統芸能に参加している町民の割合は減少傾向にあり、コロナ禍以外の要因として、伝統芸能を担っている住民の高齢化と人口減少、さらに関心の低さが考えられる。一部地域では、伝統芸能の存続自体が危惧されている。 - 指定文化財については、文化財指定を答申する文化財調査委員会において、「指定文化財を厳選し、現在指定されている文化財のさらなる管理活用に重点をおく」と方針が変更された。 - 地域で継承されている伝統芸能の中には、コロナ禍以降休止されている伝統芸能が非常に多くなっており、感染症対策を施せば実施できる行事も、積極的な再開にまで至らないという地域がある。	2. 施策の課題 - 地域の伝統芸能への参加については、文化財だけでなく地域づくり・まちづくり・コミュニティ活動の要素もあり、広い視点から考える必要がある。 - 指定文化財については、文化財調査委員の意見をふまえて、数を増やすのではなく管理と活用内容を重視する必要がある。
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化する？ - 高齢化・人口減少に伴い、今後地域行事の一つである伝統芸能の参加者は減少していくと思われる。 - 指定文化財を増やすよりも、現在指定されている文化財のさらなる管理活用に重点が置かれるようになり、地域遺産制度を活用する場面が増加する。 - 高齢化・人口減少に伴い、今後存続できる伝統芸能は減少していくと思われる。	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ - 伝統芸能の継続について、その担い手である地域住民からは、続けていきたい気持ちはあるが実際には高齢化・人口減少のため難しい、というのが本音である。 - 文化財の保存と活用については、議会、住民から常に修繕や新たな指定などの要望がある。

施策のための目的・役割分担達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 - 文化財所有者・管理者は、文化財が適切に保存・活用されるように日常から維持管理する。 - 文化財関連イベントに参加し、資料館や史跡、天然記念物を訪れる。 - 地域の伝統芸能(神社の祭り等)に積極的に参加する。観覧する。	2. 行政(町、県、国)の役割 - 文化財の状態を定期的に確認し、所有者・管理者が文化財を適切に保守管理できるよう支援する。 - 関係機関と連携し、現状の資料館展示だけでなく、文化財の活用方法を検討する。 - 地域の伝統芸能が継続できるよう支援する。
-----------------	---	--

施策	21	文化財の保存と活用	主管課	名称	生涯学習課
				課長	大塚 裕

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	活用・公開されている指定文化財数(見学できる、または紙面・SNSに公開されている指定文化財数)	件	実績値	81	85	85	90			
				目標値		—	82	83	83.0	84.0	84.0
	B	地域の歴史や伝統芸能に触れている人の割合	%	実績値	13.5	14.1	18.8	29.7			
				目標値		—	14.6	15.0	15.0	15.5	15.5
	C			実績値							
				目標値							
	D			実績値							
				目標値							

成果指標の達成状況	A	達成	成果指標の増減の要因	A	前年度までコロナ禍の影響が残っていたが、今年度でほぼ払拭された。そのため、太々神楽、獅子舞など伝統芸能の復活が見られ、結果、活用・公開されている指定文化財数が増えた。
	B	達成		B	町民アンケートを修正した。以前は太々神楽や歴史ガイドなどへの参加者に限定した質問だったが、「資料館や史跡、天然記念物を訪れる」という選択肢も増やした。これにより実績値が上がっただけでなく、設問の真意により近づくことができたと思われる。
	C			C	
	D			D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名		単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1	文化財の保護	A	文化財の保護活動者数	人	実績値	201	280	353	359			
						目標値		600	200	210	210	210	220
			B			実績値							
						目標値							
	2	文化財の活用	A	文化財見学者数(月夜野郷土歴史資料館・雲越家住宅資料館・猿ヶ京閨所資料館・永井宿郷土館・名胡桃城址)	人	実績値	13,380	20,233	21,186	21,895			
						目標値		21,000	13,500	13,500	14,000	14,000	14,000
			B			実績値							
						目標値							
	3	文化財の保存	A	デジタルアーカイブ化された文化財の累積数	件	実績値	—	0	0	2			
						目標値		—	1	2	3	4	5
			B			実績値							
						目標値							
	4		A			実績値							
						目標値							
			B			実績値							
						目標値							

基本事業 取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	指定文化財の管理者に状況調査を行い、謝金を支払って保護管理にあてていただいている。調査結果をもとに後継者育成や文化財保護に必要な措置があれば管理者と相談のうえ補助金申請等をすすめている。	保護活動者数は横ばい。お祭り等のイベントを実施するかどうかは別として日常管理はコロナ以前の状況に戻っている。	現状では保護活動者数の際立った減少は見受けられないが、神社で行われる太々神楽、獅子舞などの伝統芸能は後継者がいなくなれば激減につながりかねない。	後継者育成にあたり、発表の場の提供などにより、活動推進を行い、モチベーションの維持を図る。
	2	月夜野郷土歴史資料館、猿ヶ京閨所資料館、雲越家住宅資料館は業者、個人へ管理委託。永井宿郷土館は永井区への指定管理で安定した開館を行っている。名胡桃城址案内所は歴史ガイド、観光協会が管理している。	管理委託する以前は臨時休館が多かったが、令和6年度からすべて委託、指定管理となったため開館が安定し、見学者が微増した。見学者は町外者が多く、観光客の増加に比例している。	資料館施設の際立った見学者数増加には至っていない。施設の老朽化が目立ち展示にも変化があまりない。	休館日であっても、学校等の団体予約があれば開館して案内する。また、展示替えにより変化をもたせ入場者数の増加につなげる。
	3	獅子舞、太々神楽、人形浄瑠璃などの伝統文化、民俗芸能等の後継者が必要な文化財について、地域のお祭り、発表会等の機会に映像記録を試みている。	令和6年9月8日の藤原諏訪神社例大祭で藤原の獅子舞、令和7年3月16日の利根沼田伝承古典芸能祭で古馬牧の人形浄瑠璃を撮影した。	伝統芸能は4～5月の日曜日開催が多く、同じ日に行われるため、年間で撮影できる伝統芸能が限られる。	外部公演での撮影も含め、今後も計画的にアーカイブ化を進めて、資料館等で公開する。
	4				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		月夜野郷土歴史資料館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	2,411,471 円					
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用				月夜野郷土歴史資料館の管理運営				開館業務については、令和6年度から管理人の個人雇用から業者への委託に変更した。その結果、開館状況が安定して、来館者は若干が増加した。				事業実績					
	基本事業		02		文化財の活用												来館者数					
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
組織名		生涯学習 課				施設管理 係				人員不足のため臨時休館が多く、令和5年度までは開館日時が安定しなかった。このため来館者数も低迷している。				来館者がさらに増加するよう展示替えをするなど工夫していく。				令和 5年度		令和 6年度		単位
事業期間		継続事業		会計		1	款	10										項	5	目	3	421

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		水上歴史民俗資料館管理運営事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費	29,258 円										
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用					水上歴史民俗資料館の管理運営					収蔵物、施設がこれ以上老朽化しないよう最低限の維持管理を行った。					事業実績										
	基本事業		02		文化財の活用															来館者数										
	組織名					生涯学習 課					施設管理 係					②事務事業の課題							④今後の方針・課題解決策							
事業期間		継続事業			会計	1	款	10		項	5		目	3		老朽化が著しいため、安全管理上の理由で現在、休館状態にある。					湯原地区整備計画の早期策定が必要である。					令和 5年度		令和 6年度		単位
																					0		0		人					

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		雲越家住宅資料館管理運営事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	305,247 円							
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用						雲越家住宅資料館の管理運営				専門の屋根職人に相談して、修理すべき箇所を特定し経費見積もりを作成した。				事業実績							
	基本事業		02		文化財の活用														来館者数							
組織名		生涯学習 課				施設管理 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
事業期間		継続事業				会計	1	款	10		項	5	目	3		老朽化、または主に積雪により茅葺き屋根の破損が目立つ。				国指定文化財であることから修繕・展示変更等が難しいが、ルールに基づいたうえで改修計画をつくる。				令和 5年度	令和 6年度	単位
																				100	100	人				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		永井宿郷土館管理運営事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		500,000 円					
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用					永井宿郷土館の管理運営を永井国指定管理に出している。					財政と指定管理料の増額について協議した。その結果、年間50万円から55万円に増額することとなった。					事業実績						
	基本事業		02		文化財の活用															来館者数						
											②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策										
組織名				生涯学習 課		施設管理 係					永井区から指定管理料の値上げを要望されている。					なし					令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目											3		391		403	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000005		猿ヶ京関所資料館管理運営事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	1,205,766 円																
施策 体系	施策		21		文化財の保存と活用						猿ヶ京関所資料館の管理運営				茅葺き屋根については専門業者に見てもらい、経費をおさえた修繕の計画をたてている。				事業実績																
	基本事業		02		文化財の活用														入館者数																
	組織名				生涯学習 課				施設管理 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策																		
事業 期間		継続事業				会計		1		款		10		項		5		目		3		茅葺き屋根、板戸、室内漆喰など施設の老朽化が目立つ。				県指定史跡であり様々な規制がある。ルールの中で適正な手続きにより修繕を行っていく。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
																						693				633		人							

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000005		文化財保護総務事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		78,993 円									
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用						文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。				広く文化財保護を実現するためには未指定の文化財も対象にしなければならない。そのため、指定文化財とは別個に新たに「地域遺産」制度を導入し、令和6年度に13件認定した。				事業実績										
	基本事業		01		文化財の保護														資料館(月夜野・水上・雲越)見学者数										
	組織名		生涯学習 課				生涯学習 係						②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 5年度		令和 6年度		単位				
事業期間		継続事業				会計		1 款		10 項		5 目		4		文化財保護法改正に伴い「文化財保存活用地域計画」を策定する必要がある。かなり専門的な知識が必要で大規模な事業となるが、先進自治体の実績を参考にしながら今後進めていく。				みなかみ町地域遺産をもっと増やす必要がある。				521		636		人	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000006		文化財啓発事業						① 事務事業の内容						③課題解決のため取り組んだ事、その結果						事業費		209,333 円							
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用						従来は文化財の保護が重視されていたが、近年は活用も含めた施策の展開が求められている。この啓発事業により観光資源としての活用を含めた啓発事業を行う。						利根商の「ふるさと創生学」の授業で、生徒が名胡桃城址のプレゼンを行うという作業を行ったが、その中で作成した名胡桃城址のジオラマをあらたに現地案内所に展示した。						事業実績								
	基本事業		02		文化財の活用																		名胡桃城址来場者数								
	組織名		生涯学習 課				生涯学習 係				②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策														
事業期間		継続事業				会計	1	款	10	項	5	目	4	成果指標として、代表的な文化財である名胡桃城址来場者数をあげているが、名胡桃城址の保護（維持管理）に終始してしまい、活用にまで手が回っていない。						より広く文化財を公開するため、資料館やパンフレット、ホームページ等を活用した事業も展開する。						令和 5年度		令和 6年度		単位	
																				19581						20223		人			

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		町指定文化財管理事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	257,006 円			
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用				文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、73件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。				月夜野郷土歴史資料館の開館業務を業者に委託して開館日を安定させた。さらに事務所において他の業務(軽作業)を行いながら開館業務を実施するという仕様で業務委託することにより、委託料は管理人を雇用するよりも7割ほど安くなった。				事業実績			
	基本事業		01		文化財の保護												月夜野郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している)			
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
組織名		生涯学習 課				生涯学習 係				成果指標として町指定文化財を多く展示している月夜野郷土歴史資料館見学者数をあげている。人員不足から資料館の開館が不安定で臨時休館が多かった。				資料館の展示内容は数年間あまり変わっていない。少しずつ展示替えを行い、利用率増加につなげたい。				令和 5年度	令和 6年度	単位
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	5									目	4	421

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		県指定文化財管理事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,175,954 円							
施策 体系	施策		21		文化財の保存と活用				文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。				利根商の「ふるさと創生学」の授業で名胡桃城址を取り扱ってもらい、生徒が名胡桃城址を研究してプレゼンを行うという作業を行った。授業の中で名胡桃城址のジオラマを作成して、現地の案内所で展示した。				事業実績								
	基本事業		01		文化財の保護												主な文化財の見学者数(名胡桃城址)								
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
組織名				生涯学習		課		生涯学習		係		成果指標として代表的な県指定文化財・名胡桃城址の見学者数をあてている。これまでは史跡の維持管理(除草・清掃等)に終始してしまい、活用まで手が回っていなかった。				名胡桃城址のほか、県指定で代表的な猿ヶ京関所跡、羽場日枝神社の獅子舞、旧大庄屋役宅書院などの活用もすすめた。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目										4		19581		20223	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		国指定文化財管理事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,108,162 円	
施策体系	施策	21		文化財の保存と活用				文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、町内には8件の国指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。				旧戸部家住宅については、養生シートを点検して簡単な補修を実施。雲越家住宅については、破損した箇所を重点的に養生し、文化庁に現状を報告した。矢瀬遺跡については、史跡内に敷設されている木材チップが薄くなってきたことから2t分を新たに購入して敷設した。				事業実績			
	基本事業	01		文化財の保護												令和 5年度		令和 6年度	
	組織名		生涯学習 課		生涯学習 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				主な文化財の見学者数(雲越家住宅・旧戸部家住宅)		
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	5	目	4	国指定文化財の老朽化が目立ちはじめている。 ○雲越家住宅・・・茅葺き屋根、消防用設備 ○旧戸部家住宅・・・茅葺き屋根、消防用設備 ○矢瀬遺跡・・・遺跡復元施設(復元住居等) できるだけ大規模改修を必要としないよう日常の維持管理に努める必要がある。				旧戸部家住宅、雲越家住宅、矢瀬遺跡については、毎年少しずつ修繕を行うことにより、数千万以上の大規模改修をしなくて済むよう、計画的に修繕を行う。			
												100				100		人	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		埋蔵文化財調査事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		0 円						
施策 体系	施策		21		文化財の保存と活用				開発予定地が遺跡かどうかを確認、または発掘調査することにより、埋蔵文化財が失われることを防ぐ。				令和6年度は1件の試掘調査を行った。				事業実績							
	基本事業		01		文化財の保護												埋蔵文化財包蔵地確認(照会)							
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策											
組織名			生涯学習 課				生涯学習 係				いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備しておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。				今後も周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発事業(特に太陽光パネル関係)があることが考えられるため、常に調査研究を行い発掘調査に備える。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業 期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目		4		36				50		件				